

06.03.2024

プレスメッセージ

Pilz GmbH & Co. KG
Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern
ドイツ
<https://www.pilz.com>

ピルツの安全レーダシステム**PSENradar**：視野の 拡張と**FSoE**接続による新たなアプリケーション - 過酷な条件で安全に作業

オストフィルダン, 06.03.2024 - ピルツの安全レーダシステム
PSENradarにより、過酷な環境でもより多くのアプリケーション
で保護ゾーン監視を実施できるようになりました。また、視野機能が
拡張されたことで、レーダセンサをさまざまな生産環境に簡単に
組み込めるようになりました。視野調整がもたらす柔軟性は、特に
狭い空間でメリットがあります。また、オープンな安全プロトコル
Safety over EtherCAT (FSoE) への接続も可能になりました。
これにより、配線の手間が省け、コストも抑制できます。

検出範囲0~5メートルの既存の安全レーダセンサに加え、検出範囲
0~9メートルの安全レーダセンサ**PSEN rd1.2 sensorF-FOV LR**
も利用可能になりました。これにより、移動アプリケーションを効
率的に保護できます。

視野角の柔軟性 = 生産性の向上

両センサには、視野を柔軟に設定できるオプションが新たに用意さ
れています。左右対称の視野角だけでなく、非対称の視野角やコリ
ドー（廊下）形状の視野角も設定できるようになりました。これに
より、各種の生産環境における**PSENradar**の信頼性が高まりま
す。また、特に機械が隣り合わせに設置されていたり、通路が機械
のすぐ横を通過していたりするような狭い場所では、これらのセンサ
を使用することで生産エリアのスペースを節約できます。さらに、
視野を個別により細かく設定できるため、レーダセンサをより柔軟
に配置して、生産作業に制約が加わることを回避できます。このよ
うに、過酷な環境において、安全性だけでなく、生産性も向上しま
す。

レーダの接続

PSENradarは、ピルツの小型安全コントロールシステム PNOZmulti 2との組み合わせにより、保護ゾーン監視のための安全トータルソリューションを提供します。これにより、EtherCAT通信システム上でのFSoEを使用した安全なデータ転送も可能になります。レーダシステムPSENradar用のこの新たな評価装置では、IEC 61508準拠の、SIL 3までの安全アプリケーションに対応するFSoE機能を利用できます。FSoE-MainInstance (FSoEマスタ)としてのPNOZmulti 2は、レーダアプリケーションにおけるすべての安全機能の監視を1台の装置で担い、ネットワーク内の安全なFSoE SubordinateInstance (FSoEスレーブ)との接続を確立します。

FSoE-MainInstanceとしての小型安全コントロールシステム PNOZmulti 2と安全レーダシステムを組み合わせたトータルパッケージでは、この安全関連ネットワークをワンケーブルソリューションとして簡単に実装できます。これにより、配線工数が最小限に抑えられます。

- [安全レーダシステムPSENradarの詳細情報](#)



キャプション: ピルツの安全レーダシステムPSENradarが新たなアプリケーションに対応しました。PSEN rd1.2 sensor F-FOVとPSEN rd1.2 sensor F-FOV LRの各センサにより、視野設定オプションが拡張されます。また、新たな分析ユニットPSEN rd1.x SD I/O FSoEにより、FSoE接続が可能になります。(写真: © Pilz GmbH & Co. KG)

こちらからテキストと画像をダウンロードできます:

<https://www.pilz.com/ja-INT/company/press/messages/articles/240194>

Pilz - The Spirit of Safety

ピルツは、オートメーション技術分野の製品、システム、サービスを提供するグローバルサプライヤーです。安全オートメーションの先駆者として、人、機械、環境の安全を創造し続けています。同族企業ピルツの設立は1948年に遡り、現在ではオストフィルダンの本社を拠点として世界各国に42の現地法人・支店、2,500名の従業員を擁しています。

業界の技術リーダーであるピルツは、機械の安全と産業サイバーセキュリティを実現するためのトータルなオートメーションソリューションを提供しています。そのポートフォリオには、センサ、コントローラ、ドライブ技術に加え、産業用通信、診断、視覚化を目的としたシステムが含まれます。また、コンサルティング、エンジニアリング、トレーニングを含む各種サービスも国際的に提供しています。ピルツのソリューションは、機械エンジニアリングの業界にとどまらず、社内物流、包装、鉄道技術、ロボティクスなど、多くの業界で採用されています。

ピルツのソーシャルネットワーク

ピルツのソーシャルメディアチャンネルでは、ピルツと社員の参考情報の他、オートメーション技術開発に関する最新情報をお知らせします。



<https://www.facebook.com/pilzINT>



https://twitter.com/Pilz_INT



<https://www.youtube.com/user/PilzINT>



<https://www.xing.com/companies/pilzgmbh%26co.kg>



<https://www.linkedin.com/company/pilz>

記者向け連絡先

Martin Kurth

企業およびテクニカルプレス

+49 711 3409 - 0

publicrelations@pilz.com

Sabine Skaletz-Karrer

テクニカルプレス

+49 711 3409 - 7009

s.skaletz-karrer@pilz.de